

---

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学三者共催  
第21回 琉大未来共創フォーラム  
「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024」の開催について  
～令和の復元でできる新しいこと～

---

琉球大学は、沖縄県及び沖縄県立芸術大学と三者共催にて、令和6年10月14日(月)に沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー)にて第21回琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024」を開催いたします。基調講演には安里進先生、藤井恵介先生を迎え、様々なステークホルダーと連携し、全4部構成のシンポジウムを開催いたします。

事前申し込み制で参加費無料です。皆様奮ってご参加ください。

イベント申し込みフォーム: <https://forms.office.com/r/6kNDJLi50y>

※右記の QR コードからもお申込みいただけます。



申し込みフォーム

イベント公式WEBページ: <https://ura.skr.u-ryukyu.ac.jp/main/info/2024-09-12.html>

※右記の QR コードからも閲覧可能です。



イベント公式  
WEBページ

**歴史文化・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します。**

#### 【イベント趣旨】

沖縄県は令和3年3月に首里城復興基本計画を策定し、首里城の復元はもとより、首里城に象徴される沖縄の歴史文化の復興(ルネサンス)に取り組むという基本方針のもと、様々な関係者と方向性を共有し計画を着実に推進することを表明しました。沖縄県立芸術大学は開学以来、伝統芸術の継承と発展に寄与する人材の輩出に貢献する中、継続開催している文化講座・公開講座を通じて沖縄の歴史・文化の理解と普及に努め、沖縄の歴史文化のルネサンスの一翼を担っています。

琉球大学は、首里城再興学術ネットワークを立上げ、県内の大学等を核に広範囲な学術ネットワークを構築することにより、教育・研究面で首里城再興に貢献することを目指しているところです。

そこで、行政、芸術、人材育成、学術の面から首里城復興と沖縄の歴史文化のルネサンスに関わっている沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学が合同し、関係者の協力を得て、シンポジウムを開催する。シンポジウムのねらいは、以下の4つとし、幅広い層の県民参加と様々な関係者の交流の場となることを目指しています。

- 1.参加者と首里城復興に関係する様々な取組を共有します
- 2.参加者に沖縄の歴史・文化の再発見の機会を提供します
- 3.参加者と歴史文化を基調とした沖縄の未来像を考えます
- 4.若年層を含めた沖縄県全域の幅広い層の県民に参加・交流の場を提供します

## 「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024」について

### 【開催概要】

イベント名:第21回 琉大未来共創フォーラム「首里城再興学術ネットワークシンポジウム 2024」

主催者等:(順不同)

共催:沖縄県、沖縄県立芸術大学、琉球大学

協力: NPO 法人首里まちづくり研究会、SCSK 株式会社

後援:内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー

日時:令和6年10月14日(月)13:00~17:20 (12:30 開場)

開催形態:ハイブリッド形式(対面&後日オンデマンド配信)

実施場所:沖縄県立博物館・美術館(おきみゅー) 講堂及び博物館講座室  
(那覇市おもろまち3丁目 1-1)

定員数:100名(事前申込制)

### 【プログラム】

時間		プログラム
13:00~13:05	5分	開会のあいさつ
13:05~14:25	80分	第1部:基調講演
14:25~14:30	5分	休憩
14:30~15:10	40分	第2部:口頭発表
15:10~15:15	5分	休憩
15:15~16:15	60分	第3部:ポスターセッション
16:15~16:20	5分	休憩
16:20~17:15	55分	第4部:パネルディスカッション
17:15~17:20	5分	閉会のあいさつ

(1)開会の挨拶:5分(実施場所:講堂) 沖縄県立芸術大学 副学長 久万田 晋

(2)第1部 基調講演(実施場所:講堂)

①「令和の首里城復元—新たな知見への異なる対応」

沖縄県立芸術大学名誉教授 安里 進 氏

#### 【演者紹介】

沖縄県立芸術大学名誉教授、芸術文化研究所客員研究員(考古学・琉球史)。琉球大学法文学部史学科卒業。大阪府文化財保護課勤務の後、浦添市文化部長、沖縄県立芸術大学教授、沖縄県立博物館・美術館館長を歴任。内閣府の首里城復元に向けた技術検討委員を経て、現在、沖縄県の首里城復興基金事業監修会議の委員として首里城復元に尽力している。

#### 【講演概要】

令和の首里城復元に向けた国・県の検討作業で、平成復元を見直す「新たな知見」が多数得られた。これらの新知見に対して、〈平成復元を修正〉と〈修正は将来の課題〉という異なる対応で事業を進め

ている。そのなかから、〈玉座御床と皇帝扁額の黄塗と黄色塗〉と〈屋根瓦の灰色瓦と黒塗瓦〉の2つの事例紹介をとおして首里城復元の意義を考える。首里城復元は、検証と修正を繰り返していくエンドレスの事業である。

## ②「再建首里城の価値とこれから」

東京芸術大学客員教授・東京大学名誉教授 藤井 恵介 氏

### 【演者紹介】

東京大学名誉教授、東京芸術大学客員教授。専門は「日本建築史」「アジア建築史」「文化財保存学」。東京大学工学研究科教授、文化庁文化審議会委員、文化庁復元建築検討委員会委員長、建築史学会会長、日本イコモス委員などを歴任。

平城宮大極殿、出島の建物、多賀城南門、などの復元に委員として協力してきた。

### 【講演概要】

2019年10月に焼失した首里城正殿は、再建事業が順調に進み、構造体のくみ上げが終了し、彩色、装飾を加える段階に進んでいる。そろそろ再建終了後の課題を考える段階となってきたといえよう。それを列挙して検討してみたい。(1)再現首里城の価値と重要性について再確認する。(2)再建工事報告書の刊行。正確な図面類、仕様などが収録されていると、復元という事業の学術的な価値が説明できる。(3)収集された資料類の安全な保管。(4)メンテナンス計画の策定。(5)優れた完備した防災施設について、他の復元建築、文化財建築に適応可能かどうかの検討をおこなう。

## (3)第2部 口頭発表(演者2名、各20分(発表15分+質疑5分)):40分 (実施場所:講堂)

首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見等に関する取り組みを行っている学術機関、行政機関及び団体等から選出された下記のテーマについて、各機関の代表者による発表が行われます。

### ①「首里城復興における赤瓦とその無形文化遺産」

ドイツ ケルン大学 Institute of East Asian Studies パウル・ラングナー

### ②「自然科学的データを含む文化財デジタルアーカイブのあり方と活用方法」

琉球大学 理学部 講師 小林理気

## (4)第3部 ポスターセッション(全13題):1時間 (実施場所:博物館講座室)

関係機関から募集した首里城の復興及び沖縄の歴史・文化の再発見に関する研究・取り組みについて全13題のポスター発表を行います。

### ①「首里城再興学術ネットワークの紹介」

首里城再興学術ネットワーク 昆 健志

### ②「令和の葡萄栗鼠文～首里城復興基金事業における御差床の羽目板制作について～(仮)」

沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 彫刻専攻 准教授 長尾恵那

### ③「〈首里巡検〉～首里城取り壊し中止から100年を迎えて～」

沖縄県立首里高校 金城 睦 以下生徒 大城 莉子 瀬底 琉歌 武村 怜菜 吉田 愛

### ④「10代が伝え続ける首里城～興南アクト部の取り組み～」

興南高等学校・興南中学校 興南アクト顧問 門林 良和

- ⑤ 「首里城正殿再建後における構造部材の維持管理研究プロジェクト - その2」(仮)  
琉球大学 島嶼防災研究センター 教授 カストロ ホワン ホセ
- ⑥ 「リュウキュウコクタンを「三線の棹」の原材料として利用するための管理手法の提言」  
琉球大学 農学部 教授 谷口 真吾
- ⑦ 「首里城関連資料の3Dデータ化 ～共用機器の活用と人材育成～」  
琉球大学 博物館(風樹館)助教 平良 渉
- ⑧ 「琉球王国時代蔵元跡の実態解明に向けた考古学的調査」  
琉球大学国際地域創造学部 講師 主税 英徳
- ⑨ 「中城御殿および松崎馬場跡地整備事業について」  
沖縄県首里城復興課 復興推進班 主任技師 玉城 奈央 主任 宮城 心
- ⑩ 「首里城復興基金事業について」  
沖縄県首里城復興課 復元整備班 技師 玉那覇 恵大
- ⑪ 「首里杜地域における交通渋滞だけではない交通問題への取組み  
～バスより便利でタクシーより安い！相乗りタクシーによる地域公共交通利便性の増進～」  
首里まちづくり研究会 伊良波 朝義理事長 河井 耕治事務局次長
- ⑫ 「中城御殿跡の発掘調査成果」  
沖縄県立埋蔵文化財センター 調査第2班 主任専門員 羽方 誠
- ⑬ 「デジタル技術で拓く新しい可能性」  
SCSK 株式会社 地域共創事業開発部 舟津 誠也、遠藤 智

(5)第4部 パネルディスカッション:1時間 (実施場所:講堂)

基調講演、口頭発表、ポスターセッションでの提言などを踏まえ、「令和の復元でできる新しいこと」をテーマに、首里城復興の現在地と今後の展開、学術ネットワークの果たす役割について、各分野の有識者による討論が行われます。

- ① 【学術】沖縄県立芸術大学 名誉教授 安里 進
- ② 【学術】東京芸術大学客員教授・東京大学名誉教授 藤井 恵介
- ③ 【行政】沖縄県(調整中)
- ④ 【街づくり】株式会社国建 建築設計部 常務執行役 平良 啓
- ⑤ 【街づくり】NPO 法人首里まちづくり研究会 副理事長 いのうえ ちず
- ⑥ 【ファシリテーター】琉球大学 理事・副学長 木暮 一啓

(6) 閉会の挨拶:5分 (実施場所:講堂) 琉球大学長 西田 睦

沖縄県・沖縄県立芸術大学・琉球大学

第21回  
琉大未来共創フォーラム

# 首里城再興 学術ネットワーク シンポジウム2024

～令和の復元でできる新しいこと～

令和6年

日時 **10月14日** [月・祝]

13:00 ▶ 17:20 (12:30 開場)

会場

沖縄県立博物館・美術館 (おきみゅー)  
沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号

定員

**100名**(申込み先着順)

参加費無料

事前申込制



お申込みはこちらから



◇プログラム (予定) \ 歴史文化・教育・まちづくりなど、首里城に関連した多様な研究や取組を共有します /

13:00	開会挨拶 (沖縄県立芸術大学 副学長 久万田 晋)
13:05	第一部 基調講演 安里 進 氏「令和の首里城復元—新たな知見への異なる対応」 藤井 恵介 氏「再建首里城の価値とこれから」
14:30	第二部 口頭発表 (2題) バウル・ラングナー 氏「首里城復興における赤瓦とその無形文化遺産」 小林 理気 氏「自然科学的データを含む文化財デジタルアーカイブのあり方と活用方法」
15:15	第三部：ポスターセッション (発表13題)
16:20	第四部 パネルディスカッション 「令和の復元でできる新しいこと」
17:15	閉会挨拶 (琉球大学長 西田 睦)



安里 進 先生



藤井 恵介 先生

イベント詳細は  
こちらからも  
ご確認いただけます



協力：NPO法人首里まちづくり研究会、SCSK株式会社  
後援：内閣府沖縄総合事務局、那覇市、一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー  
問い合わせ先：琉球大学 総合企画戦略部 地域連携推進課  
Mail：chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp ※フォーラム2日前～当日のお問い合わせは対応いたしかねますのでご了承ください。

詳しくは

琉大 地域連携 検索



地域とともに豊かな未来社会をデザインする大学

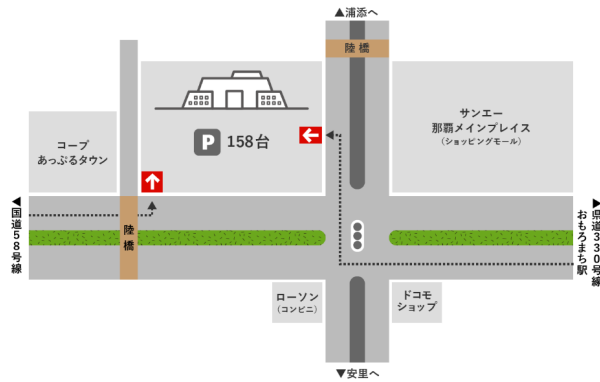
琉大未来共創フォーラム

Island wisdom, for the world, for the future.

## アクセスマップ

### 車・レンタカー・タクシーでお越しの方

- 那覇空港から車で約30分。無料駐車場あり
  - ・一般駐車場：158台（うち身体障がい者用4台）
  - ・駐輪場：25台
- ※時間帯によっては、遅延が生じる場合があります。



### 沖縄県立博物館・美術館周辺の地図



### バス・モノレールをご利用の方

イベント終了時刻は車通りが増えてくる時間帯（17:30-18:30）です。ご来場の際はモノレールのご利用もお勧めです。  
詳しくは、右記QRコードからご確認ください。



## 参加登録

### ご参加までの流れ

- ①下記URL又はQRコードから、お申し込みフォームへアクセスし必要情報をご入力ください。
- ②必要事項を記入し、参加登録完了のメールをご確認ください。
- ③当日は、沖縄県立博物館・美術館にお越しください。



お手数ではございますが、複数名で一緒にご参加予定でもお一人ずつ申し込み登録をお願いいたします。

※ご記入頂きました個人情報は本フォーラム開催準備の為に使用いたします。個人情報は、主催関係者を除く第三者に開示・提供することはありません。

ご参加申し込みは下記URL・QRから承ります

動画は後日オンデマンド配信します

お申し込みURL：<https://forms.office.com/r/6kNDJLi50y>

※サイト内必要事項のご記入を宜しくお願い申し上げます。  
※申込受付締切：令和6年10月9日（水）17：00迄

### 地域連携推進機構

### YouTubeチャンネル

シンポジウムの様子は、後日地域連携推進機構のYouTubeチャンネルにてオンデマンド配信します。



〈問合せ先〉  
琉球大学総合企画戦略部地域連携推進課  
TEL：098-895-8087  
メール：[chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp](mailto:chikikaku@acs.u-ryukyu.ac.jp)

